

# 英 語

## 1 構 成 員

	平成 13 年 3 月 31 日現在
教授	1 人
助教授	1 人
助手（うち病院籍）	0 人 ( 人)
大学院学生（うち他講座から）	0 人 ( 人)
研究生	0 人
外国人客員研究員	0 人
技官	0 人
その他（技術補佐員等）	0 人
合計	2 人

## 2 構成員の異動状況

大木 俊夫（教授）（期間中現職）

菱田 治子（助教授）（期間中現職）

## 3 研究業績

	平成 12 年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	2 編 ( 0 編)
そのインパクトファクターの合計	0
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	0 編
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0 編 ( 編)
そのインパクトファクターの合計	0
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0 編 ( 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編 ( 編)
(6) 国際学会発表数	0 編

### (1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Hishida H. (2000) A Survey of English Words in Japanese Advertisements.

Ars Linguistica Vol. 7:90-105

2. Hishida H., Ohki T.(2000) The Realities of the Use of Medical English.

Journal of Medical English Education Vol.1. No.2: 49-53

インパクトファクターの小計 [ 0 ]

- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
- D. 筆頭著者、共著者とも浜松医科大学に所属していなかったが、当該教室に所属する者が含まれるもの

## (2) 論文形式のプロシーディングズ

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
- D. 筆頭著者、共著者とも浜松医科大学に所属していなかったが、当該教室に所属する者が含まれるもの

## (3) 総 説

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
- D. 筆頭著者、共著者とも浜松医科大学に所属していなかったが、当該教室に所属する者が含まれるもの

## (4) 著 書

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

- D. 筆頭著者，共著者とも浜松医科大学に所属していなかったが，当該教室に所属する者が含まれるもの

#### (5) 症例報告

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し，共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し，共著者が当該教室に所属していたもの
- D. 筆頭著者，共著者とも浜松医科大学に所属していなかったが，当該教室に所属する者が含まれるもの

#### (6) 国際学会発表

### 4 特許等の出願状況

	平成 12 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

### 5 医学研究費取得状況

	平成 12 年度	
(1) 文部省科学研究費	1 件	( 50 万円)
(2) 厚生省科学研究費	0 件	( 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件	( 万円)
(4) 財団助成金	0 件	( 万円)
(5) 受託研究または共同研究	0 件	( 万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	0 件	( 万円)

(1) 文部省科学研究費

菱田治子（代表者） 基礎研究（C）(2) 「医学英語論文における誤文の分類別データ分析」  
50 万円（継続）

### 6 特定研究などの大型プロジェクトの代表，総括

## 7 学会活動

	平成 12 年度
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件
(2) 国際・国内シンポジウム発表数	1 件
(3) 学会座長回数	2 件
(4) 学会開催回数	0 件
(5) 学会役員等回数	3 件

### (2) 国際・国内シンポジウム発表

菱田治子, 大木俊夫 (2000) 卒業後の医学英語使用の実態, 第 3 回 日本医学英語教育学会  
2000 年 7 月 8,9 日, 東京

### (3) 座長をした学会名

大木俊夫 第 3 回 日本医学英語教育学会 2000 年 7 月 8,9 日, 東京

菱田治子 第 3 回 日本医学英語教育学会 2000 年 7 月 8,9 日, 東京

### (5) 役職についている学会名とその役割

大木俊夫 日本医学英語教育学会 理事

菱田治子 日本医学英語教育学会 理事

菱田治子 大学英語教育学会 WE 研究会 副代表

## 8 学術雑誌の編集への貢献

	平成 12 年度
学術雑誌編集数	0 件

## 9 共同研究の実施状況

	平成 12 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	0 件
(3) 学内共同研究	1 件

### (3) 学内共同研究

大木俊夫 (英語) 医学英語論文における誤文の分類別データ分析

## 10 産学共同研究

	平成 12 年度
産学共同研究	0 件

## 11 受賞 (学会賞等)

## 12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

1. 「医学英語論文における誤聞の分類別データ分析 予測, 予防のメカニズム」  
医学論文原稿（英語）から誤文を3年間で収集してデータベースを作成し、本年度データを分析に誤文, 誤用法に観察される規則性, 関連性を追求し42ページから成る論文にまとめた.
2. A Measure of Malpractice (Harvard University Press) の翻訳（大木俊夫）  
平成12年度4月から訳業を開始, 現在再校正中

## 13 この期間中の特筆すべき業績, 新技術の開発

## 14 研究の独創性, 国際性, 継続性, 応用性

## 15 新聞, 雑誌等による報道